



日本共産党・そねはじめレポート とうきょう民報おりにこみ版

2011年 8月31日発行 第 10 号

そねはじめ事務所
114-0032
北区中十条2-11-6
Tel:3907-1135
Fax:3906-3225

津波被害そのままの石巻・女川の惨状にがく然

8月23・24日

北区のボランティア26名でバザール



●20代から70代まで幅広い参加者

北区の共産党の呼びかけで、8月23日早朝、被災地ボランティアのマイクロバスや軽トラック4台が中十条の地区委員会事務所を出発し、宮城県の石巻市と女川町を訪ね、支援物資の配布などに取り組みました。

今回は、20代30代の若い参加者も6名現地に向かいました。「引越し業で働いていました」と、てきぱきトラックに荷を積み込む頼もしい姿も。

片道6時間をかけ、午後2時半に現地に着いたボランティア隊は、さっそく石巻と女川の漁港や高台から被災地を見学。「まるで大空襲の後のよう」などと感想を出し合っていました。

●「お米は助かります」と開始前から列が・・・

24日は石巻市の市議団長・三浦議員の活動する県営住宅と仮設住宅の地域で北区から運んで行った300キロのお米と、トラックいっぱい野菜を配布する無料バザールを開催。トラックが広場に着くとすぐに、荷おろしする前から行列ができ、炎天下でしたが大盛況のバザールとなりました。



地元の住民からは、「お米や野菜が足りないので、本当に助かります」の声。電子レンジや扇風機は数が少ないので抽選で持ち帰っていただきました。帰り際には、用意した被災地の要望を聞くアンケートや「原発ゼロをめざす署名」にほとんどの方が協力してくれました。

●「被災地を一度は見ておきたかった」

帰る途中、70代の参加者は「被災地をどうしても一度は見ておきたかったので、私でも参加できる企画はありがたかった」と話していました。「疲れながらも充実したボランティアだった」「また機会があれば参加したい」などという感想もありました。

(次号では被災者の生活要望や、原発のある女川町の被害等についてお伝えします)

●何としても被災者支援募金と、原発ゼロめざす署名運動の成功を

そねはじめ前都議と区議団は、9月以降も毎月被災地を訪問し、食料や物資、義援金を届ける計画です。また引き続き、猛暑の中でも駅前などで原発ゼロをめざす署名に全力を上げています。

ご協力をお願いします。



8・26 集中豪雨で浮間、赤羽、志茂、滝野川等水害被害が・・

想定外扱いせず直ちに対策を！国や都・区に要請

●浮間のスーパー堤防から 滝のような水が

8月26日午後、猛烈な豪雨で区内でも、志茂、浮間、赤羽北、滝野川などで道路や住宅に浸水被害が発生しました。

豪雨は比較的短くすみましたが、毎年水害を心配している区民はたまりません。

浮間1丁目のスーパー堤防からは、堤防上の防災ステーションなどに降った豪雨が、全て下水溝を通じて堤防下の住宅街に流れ込むしくみのため、狭い歩道のU字溝はたちまちあふれ、土手からの水が滝つぼに落ちるように跳ね上がっている状態でした。

住民の方々は、ただちに自治会や、共産党のそねはじめ前都議、永井朋子区議などと協力して、国土交通省の荒川河川事務所などに緊急対策を求める予定です。



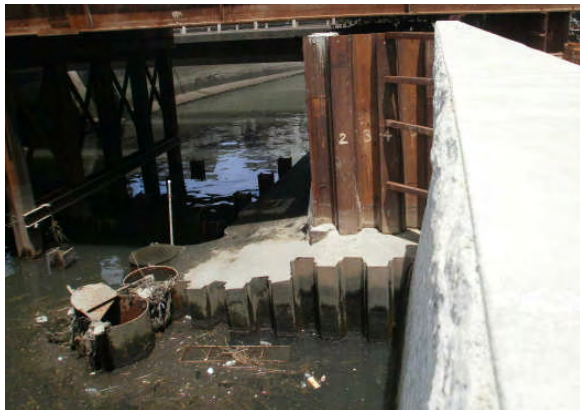
スーパー堤防（左側）からの被害を話す近隣のTさん

●昨年堀船水害の教訓を生かせ！

昨年7月5日、4百世帯以上の浸水被害をもたらした、堀船の溝田橋付近は、今年も避難水位までいったん上昇しましたが、その後下がったため、避難警報は出されませんでした。

しかし、昨年の石神井川の水害について、いまだに原因究明も再発防止対策も責任ある補償もありません。

「想定外の豪雨による水害だから」という理由ですが、石神井川流域ではほぼ5年おきに3度も時間当り百ミリの豪雨が発生し、そのうち2回は下流の堀船で洪水被害を出しており、水害が起こるべくして起きているのは明らかです。「50ミリの豪雨を想定した護岸だからこの水害は想定外」などという言い訳は福島原発と同様、もはや全く通用しません。



昨年水害後、多数見られた河川内の構造物

●ようやく河川内の橋脚を撤去

そねはじめ前都議は区議団とともに、溢水した護岸のかさ上げとともに、水流を阻害する首都高や都のズサンな高速道路や護岸工事を見直せと要求してきましたが、今年やっと河川内の栈橋が撤去されました。

しかし昨年水害場所の緊急かさ上げで、次の洪水の危険はどこなのか分らないままです。

また、北区はホームページで豪雨や川の水位情報を速報で出すようになりましたが、北区の雨量とともに練馬や板橋の雨量を速報しないと水害の危険性は分かりません。

こうした問題を一日も早く克服し、2度と水害を起こさない対策を強く求めています。

共産党区議団が放射線問題で第2弾、第3弾の学習会

6月に放射線防護学の野口邦和さんを講師に行った学習会は、その後の都や区による測定開始を決断させる上で大きく貢献しました。多くの皆さんの要望に応え第2・第3弾を企画しています。

■10月11日(火)6時半～ 内部被爆問題学習会

講師 松井英介氏(岐阜環境医学研究所所長) 会場 北とぴあ・ペガサスホール(15階)

■11月23日(祝)午後 内部被爆問題学習会(その2)

講師 矢ヶ崎克馬氏(琉球大学名誉教授) 会場 赤羽会館大ホール(4階)